

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公表番号】特表2002-513541(P2002-513541A)

【公表日】平成14年5月14日(2002.5.14)

【出願番号】特願2000-523554(P2000-523554)

【国際特許分類】

C 12 N	15/09	(2006.01)
A 01 K	67/027	(2006.01)
A 61 K	35/12	(2006.01)
A 61 P	35/02	(2006.01)
A 61 P	37/06	(2006.01)
C 12 Q	1/04	(2006.01)
G 01 N	33/53	(2006.01)
G 01 N	33/566	(2006.01)
C 12 N	5/10	(2006.01)

【F I】

C 12 N	15/00	Z N A A
A 01 K	67/027	
A 61 K	35/12	
A 61 P	35/02	
A 61 P	37/06	
C 12 Q	1/04	
G 01 N	33/53	K
G 01 N	33/566	
C 12 N	5/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月24日(2005.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 検体の中のCD94/NKG2+細胞とT細胞の存在を同定する方法であって、結合条件下で検体をHLA-Eと接触させ細胞とHLA-Eの結合を検出することを含む方法。

【請求項2】 HLA-Eがシグナル部分で標識化され結合HLA-Eが検出される、請求項1の方法。

【請求項3】 検体からCD94/NKG2+細胞を選択する方法であって、検体を結合条件下でHLA-Eと接触させHLA-Eと結合した細胞を検体から分離することを含む方法。

【請求項4】 HLA-Eが支持体上に固定化されている請求項3の方法。

【請求項5】 CD94/NKG2+細胞を死滅または不活性化する方法であって、細胞をHLA-Eと結合条件下で接触させ結合細胞上で標的死滅を行なうことを含む方法。

【請求項6】 HLA-Eがエフェクター剤に付着している請求項5に記載の方法。

【請求項 7】 エフェクター剤が結合細胞を死滅または不活性化する毒性部分である請求項 6 の方法。

【請求項 8】 CD94 / NKG2+ 細胞が混合細胞集団で提供され非CD94 / NKG2+ 細胞が回収される請求項 5 から 7 までの何れかの方法。

【請求項 9】 潜在的標的細胞に対する NK 細胞活性を修飾する方法であって、標的細胞表面で HLA-E を発現することを含む方法。

【請求項 10】 HLA-E が細胞内に安定に組み込まれている異種の DNA によって発現されるものである請求項 9 の方法。

【請求項 11】 細胞が HLA-E を通常は発現しない請求項 10 の方法。

【請求項 12】 細胞が非ヒトの哺乳動物細胞である請求項 11 の方法。

【請求項 13】 細胞が異種個体の器官または組織の中の一群の細胞に存在する請求項 9 から 12 までの何れかの方法。

【請求項 14】 請求項 3 または請求項 4 の方法により単離された CD94 / NKG2+ 細胞。

【請求項 15】 請求項 8 の方法による CD94 / NKG2+ 細胞を欠如する細胞の集団。

【請求項 16】 請求項 14 または請求項 15 の細胞の効果的な量を患者に導入することを含む治療方法。

【請求項 17】 患者から細胞の検体を除去し、請求項 3 または請求項 4 または請求項 8 の方法によって検体から CD94 / NKG2+ 細胞の集団または CD94 / NKG2 欠失細胞の集団を単離し、そして単離された細胞集団を患者に再導入することから成る方法。

【請求項 18】 細胞のゲノムの中へ組み込まれた HLA-E をコード化する核酸により細胞表面で HLA-E を発現する非ヒト哺乳動物細胞。

【請求項 19】 請求項 18 による細胞を含む非ヒト哺乳動物。

【請求項 20】 化合物の生物学的活性を試験する方法であって、

(i) 細胞表面で CD94 / NKG2 レセプターを発現する細胞を提供し、

(ii) 試験すべき化合物の存在下にその細胞を HLA-E と接触させ、そして

(iii) その化合物の存在が HLA-E と細胞の結合に影響を与えるかどうかを決定することを含む方法。

【請求項 21】 CD94 / NKG2 レセプターが、 CD94 / NKG2A レセプターのような阻害的 NK 細胞レセプターである請求項 20 の方法。

【請求項 22】 CD94 / NKG2 レセプターが、 CD94 / NKG2C レセプターのような促進的 NK 細胞レセプターである請求項 20 の方法。

【請求項 23】 CD94 / NKG2 レセプターへの HLA-E の結合に影響を与えるような請求項 20 から 22 までの何れかの方法で同定される化合物。

【請求項 24】 2つまたはそれより多い HLA-E 分子を含む HLA-E の多量体であって、シグナル部分で標識されていてもよい非多量体 HLA-E と比べて高められた結合能力をもっている多量体。

【請求項 25】 リンカーモノクローナル抗体分子を経由して付着している組換え HLA-E 分子を含む請求項 24 の多量体。

【請求項 26】 HLA-E 分子がビオチン化され、たとえばストレプタビジン、アビジンまたはエキストラビジンのようなリンカーモノクローナル抗体分子を経由して付着している請求項 25 の多量体。

【請求項 27】 毒性剤とカップリングした HLA-E。

【請求項 28】 HLA-E が請求項 24 から 26 までの何れかの HLA-E の多量体の形態である請求項 27 の HLA-E。

【請求項 29】 支持体に固定化された HLA-E。